

## 2014年初春をお喜び申し上げます。

会長 三上保孝

昨年は京都スキー協にとって喜ばしい歳で、京都北部丹後地方宮津周辺に「雪おこし」、京都南部大阪府との境の乙訓周辺に「京都西山スキークラブ」が創立されました。京都府の広範囲にクラブが展開することになり、こんな機会にスキー大好き人間の大会集を画策し、子供や若者世代に冬のアウトドアの喜びを伝播できたらと思います。

そんな機運を高めるため、ミーハーな私が＜追っかけ＞している「ユーミン」と「上野千鶴子」に係わるスキー話をご披露します。私にとって二人は「邪馬台国 卑弥呼」みたいな絶対的存在である。ユーミンは30周年の苗場コンサートを成し遂げたようで、30代直前から始めている。コンサート中にスノーボードを滑ることもあるようだ。音楽をするために立教学院から多摩美へ進学した。ファッションや舞台美術にも才能があり、和服が似合う（呉服屋の娘）のでビックリです。頭も中々で、日本を評して「B29を竹やりで落とすみたいなどころがある」と言っておりました。好きな曲は、今の流行りは「ひこうき雲」ですが、やっぱり「ブリザード」が好きですね。カラオケでも歌いますが、もう一つ乗り切れず後傾になります。

上野千鶴子は京大大学院修了で学生紛争（新左翼）にも関与していたようだ。平安女学院、精華大学を経て東大教授、現 立命館大学招聘教授、女性学の権威でウーマンリブの騎士、ケアの社会学、当事者研究の拡散を展開中である。半端でなく頭が良く、ケンカがめっぽう強い、私のゼミ教授でもある下ネタ大好き学者のスキー論を紹介します。

「20年のブランクを経て、スキーを再開したら、すっかり道具が変わって、スキーがべつものになっていた。いまのスキーはカービングスキーといって、幅広で丈も短く、わずかな重心移動でこまわりがきいて、操作性がよい。昔のスキーと比べると、ハイテクといっけいよくらいだ。姿勢もスキーを揃えてきれいに滑るなんて言わずに、肩幅に足を広げて、自然に両足を交互に出して歩くように滑る。道具が変わっただけで、なんだかとてもうまくなった気分がする。それにスキーはうまいひとはうまいなりに、へたなひとはへたなりに、楽しめるスポーツだ。

とはいえ、膝にも腰にも故障がなく、目も見え、バランスもよくなければ、スキーはできない。どこかひとつでもトラブルがあれば、アウトだ。50歳の坂を超えたとき、あと何シーズン、こうやって雪の上に立てるだろうか、と指折り数えた。そうなれば、1シーズン1シーズン、あだやおろそかにできない。スキーシーズンのあいだは、仕事を減らそうかと思うくらいだ。

朝早くゲレンデに、耐寒用の下着にセーターを重ね着し、スキーウェアにオーバーズボンと完全武装をする。寒さは年齢の大敵だ。ネックウォーマーに鼻マスク、ゴーグルにヘルメット。分厚いてぶくろをはめて、スキー靴をはいた宇宙遊泳みたいな恰好に、スキーとストックをえいやとかつぎあげる。寒さは容赦なく、風は身を切るようだ。

「難儀な遊びやな……」とぶつぶつ言いながら、スキー場に向かう。

それでもスタート前のリフト乗り場に立ち、朝いちばんの誰もシュプールをつけていない斜面を、思うぞんぶん滑る快感は、一口めのビールの喉ごしみたいな爽快さだ。どんな難儀な思いも、これでふっとぶ。

まさか自分が、シニア割引のリフト券でスキーをすることになるろうとは、夢にも思わなかった。それかあらぬか、スキー場で出会う常連には高齢者が多い。ヘルメットを脱ぐと銀髪がこぼれでる。こんな難儀な遊びは、若者にはもう人気がないのだろう。事実、「私をスキーに連れてって」と、大ブームになった80年代に比べると、スキー人口は激減している。

省エネ、脱力系のスキー術を会得したので、いくら滑っても疲れな。重心移動だけで、ひたすら滑り降りる。汗もかかないし、足腰も痛くならない。こんなんじゃ、運動にならないよ、と思う

くらい。重力に反して昇るのは、リフトやゴンドラという機械がやってくれる。わたしはひたすら下るだけ。下り坂の人生にこんなにふさわしい遊びはあるだろうか、やっぱりスキーはシニアのものだ、とこじつけたりする。

とはいえ、一年でいちばんきびしい季節を、アウトドアの楽しみの季節に変えたスウェーデンだのフィンランドだのという雪国のひとたちはえらい。なにより、自然のなかにいる喜びはなにものにも替えがたい。口もとに笑みがこぼれでる。抑えてもおなかの底からこみあげる笑いは、大自然のなかにいるアウトドアスポーツならではのものだ。こんな楽しみを知らないひとに、教えてあげたくなる。そう言えば、ひとり遊びの得意なひとには、アウトドアの好きなひとが多いような気がする。自然のなかにいるだけで、もうほかには何もいらなくなる。自然は刻一刻と変化するから、風や波など対話する相手に事欠かない。というより、わたしひとりがそこにいようといまいと、自然には何の関係もない、という潔さがよい。それでもわきあがるこの喜びは、自分もその一部であることを許されている生きものの喜びだろう」おっかけしていた人がスノースポーツが好きだったので嬉しくて報告しました。

初夢は「一富士 二鷹 三茄子」と言いますが、こんな夢見たことないな。

## 2014シーズンに向けての新年のごあいさつ

運営委員長 小山孝夫

京都スキー協の会員のみなさん、2014シーズンへの意気込みはいかがでしょう。このシーズンも少しでも『前進』できるシーズンにしましょう。

去年は、「雪おこし」と「西山クラブ」の二つの新しくクラブが結成され、念願だった100人の大台に復活することが出ました。

去年からバスツアーを企画し、今シーズンは、ウイクデーツアーのバスツアーを初めて企画し、京都フェスティバルもバスツアーで企画しています。この二つのバスツアーを成功させることは本当に大きなことだと思っています。京都スキー協が元気に戻れる足掛かりになると思います。

みなさんのご協力では是非成功させたいと思っています。どうかよろしくお願い致します。

今、「京都スキー協」を一人でも多くの方に宣伝して知らせていくことが、重要なことと思っています。まだまだ「京都スキー協」は知られていません。私も、今、いろいろな団体に顔を出していますので、あらゆる機会を通じて「京都スキー協」を宣伝しようと思っています。

今、スキー人口は減っていますが、まだまだスキーをする人はかなり多くおられると思っています。以前は仲間とスキーをしていたが、周りにスキーをする人がいなくなって一人ぼっちでいる方や、以前にスキーをしてしばらくやってなかったが、時間が空くようになって久しぶりにスキーをしてみたい方、定年後にスキーに挑戦してみたい方など、みなさんの周りにおられるかも知れません。もう一度、じっくりと見回していただだけませんかでしょうか。

近郊の府県では、パンフレットやホームページを見て、新たにクラブに入って来られる方が結構あるように聞いています。今、京都スキー協を宣伝する「ミニパンフ」を検討しています。出来上がりましたら、是非、配っていただいて宣伝をしてください。よろしくお願い致します。

みなさんにとって、今シーズンがより充実したシーズンになるようにしましょう。私自身も実のあるシーズンにしたいと思っています。半年弱しかできないスポーツです。思い切ってやりたいことをやろうではありませんか。そして、シーズンの終わりには「いいシーズンやったな！」と思えるシーズンにしましょう。

# 関西ブロック養成研修学校 報告

森の会 三上保孝

日 時：2013年12月13日（金）～15日（日）

参加者：橋本、岡島、竹口、佐野（シティ）、森田、矢吹、三上2、法里、丸谷（森の会）、小山、荒川（望峰）、寺尾（スノーフリーク）、星（雪おこし）、中島（西山）、合計15名、

志賀高原の取っ掛かりになると一面の銀世界になった。さすが志賀高原恐るべし、この時期に雪があるとは、まことに有難いなと思いながら雪の夜道を楽しんでいた。京滋の地を出遅れ、途中ハプニングも発生して、それでも何とか深夜2時に山楽に到着した。全体で65名（講師除いて）の参加ということで賑やかな行事となった。京都も勢揃いの豪華メンバーとなった。何処かの部屋（多分大阪？）では3時頃まで大騒ぎ、元気あるな。京都も森田部屋で遅くまでやっていたらしい。若干1名二日酔いでスキーに出てこられず何していることか、飲むのは程々が宜しい。

私は外部講師の藤本先生に教えてもらい、SIA高天原の所属のコーチで基本からバッチリ教えていただき、基本姿勢の前傾の取り方、股関節の曲げ方、腕の位置、胸の張り方を丁寧に教えられた。プルークでの基本練習、外足加重（7：3とか8：2）の仕方、悪い癖はリアルタイムに指摘していただいた。シーズン最初なのと体が硬いので、例によってプルークには苦しむ。シュテムターンまで教えていただいたが、理路整然、判りやすい、最後のターンの仕上げに結びつく、夜のビデオクリニックも良いところと悪いところ素早く指摘、右ターンと左手がおかしいとのアドバイスを受けた。うーむ大当たりでした。

二日目研修は橋本、寺尾、柳原、石川と錚々たるメンバー（いつも教えてもらっていた人）と一緒に、これが中級になるということかと考え深げでした。先生は滋賀の池田さん、完全に逆転現象で誰が生徒か先生か？判らない。雪上スキー技術討論会の始まりでした。私にとっては落ちこぼれないように頑張るしかない。最後の方で寺尾さんにも初めて褒めてもらった。混沌とした教室も関ブロの魅力になるとふと思った。夜は急性アルコール中毒っぽい症状（そんなに飲んでないのに）でダウン、京都の飲み会に出られなかった。反省文が二つ目になった。

二日目の食事は教室毎の席での交流会となった。初めての試みであったが何時にももまして盛り上がってお話は尽きないようでした。初めてのすき焼きも出てビックリでした。この日は京都の飲み会に出席、レベルアップの初心クラス、法里、丸谷さんの報告でメンバーの弥次喜多ぶりが注目を浴びていました。プライドが高くクラス替えを要求する生徒、ゴーイングマイウエイで先生の言うことを聞かない生徒、法里さんを勝手にライバル視して競争する生徒、先生を質問攻めしリフトにも一緒に乗る生徒、先生は海千山千、口の悪い和歌山のツボ何とかさんでした。良くぞメンバーをまとめられ焼額山まで出張って滑られました。まあ一笑い転げました。レベルアップ中級（三上愛子所属）の小山班は天狗コースでクラウチングの練習をしておりました。危ないなー！でも楽しそうでした。

毎夜ビデオクリニックもあり、雪不足を心配していましたが、なんと吹雪かれてSTTは途中で中止寒かった。コーチも用心して度々休憩所で暖を取ってくれました。関西ブロックの行事は勉強が中心だが、こんな楽しい雰囲気があるな、毎回こうであってくれたらもっと人気が出てくると思う。楽しく教えることが早く上手くすることになる。注意していてもけが人が2名発生、出るのは歳のせいなのか。3日目は天気も良くなり速攻京都へ向い、車中は前日の話で笑っぱなしでした。蕎麦なしでしたがあー楽しかった。

## 京都西山スキークラブ結成記念ツアー 報告

### 京都西山スキークラブシーズン開幕！ クラブ結成記念志賀高原ツアー大成功！

京都西山スキークラブ 塩谷憲司

楽しい初滑り！ 初体験の連発！

実り豊かな初シーズンに向けて、クラブ活動前進のエンジン始動・フル回転！

クラブ員の飽くなき情熱と向上心！無邪気に雪と戯れる参加者一同！

ずーっと前からみんなが仲間だったような妙な面白い実感。まだクラブ発足して3ヶ月も経っていないのに！



人生この先どうなるか分かりません。

この先ロングスキーライフはどんなターン弧の軌跡を描きながら、どんな風に豊かに膨らんで行くのでしょうか。

少年・青春時代にスキーなんてした事がなかったし、スキーを生き甲斐にするなんて思ってもいなかった私自身、先が読めません。

未知の世界・老いらくのスキーライフにわくわくして来ますね。

クラブ結成記念ツアー、いろいろ行き届かないところもありました。夫々課題が違いますし、要求も異なりますのでクラブ行事として統一的な動きを生み出して行くのが難しいのですが、記念ツアーが楽しく無事に終わって良かったと思います。

これで胸はって新しい年を迎えることができます。次も頑張ろう！

### 「人生捨てたものじゃない！ 61歳 これからだーっ！」

新クラブ員 H.Y さんの感想文

滑れなくても、教えてあげます。滑れるようになります。

えっ、ほんまかいなあ！メタボやのに

信じきれず、しかし、あつかましくも参加・・・

一日目林道を転げまくり、クラブ員の手を振る姿を見たとき、遂には雪(?)に突入し、手足をとられながらも、立てられたスキー板のヘサキに谷底から這い上がる思いですががり付き、これらにより、ストレス全て発散す。

二日目、中島会長に呼ばれて、こわごわ立った林道の端っこの雪山々の view は忘れ難きものとなる。

三日目 それまでは恐ろしくて見れなかったはるか谷側を眺めながらターンし、転げずに滑れる(?)ようになりました！ フォームはいざ知らず！

最後スキー板担ぎがもう少しで終わりになる、ホテルにもう少しで着くというその時、噴火の如く心が騒ぎ出す。万歳したい！万歳したい！と。

スキー板をおいたときたん爆発！ 今までの人生をかけて少しばかり大げさですが全身で勝ち取った喜び、夢のまた夢が実現！

61歳これからだーっ！その思いを大声で叫び続けてしまったのです。

周囲の高校生達のヘンな顔・顔・・・

夜のビデオを見ながらの交流会や同室の淑女達との談笑、爆笑、心身ともに解き放たれ、若者に戻ったような、愉快的な愉快的な三泊四日でした。

スキーウェアやスキー道具を下さり、倒れた体を引き上げて、懇切丁寧に指導して下さいました中島会長、塩谷事務局長、谷野さんをはじめとした京都西山スキークラブの皆様へ感謝！感謝！の毎日です。

心から 御礼申し上げます。有り難うございました。

# 望峰正月スキーツアー 報告

望峰 荒川 邦博

1月2日から5日まで3泊4日で、恒例の志賀高原ツアーを行ないました。

近年、参加者が減り続け10人以下の状態が続く中で、今年にはクラブ外の人にも参加を呼びかけ、参加日程も、1泊2日や2泊3日、途中からの現地合流も有りとするなどで、総勢12人の参加となりました。

近年にない好天に恵まれ、皆んなで奥志賀から焼額山、一の瀬、ブナ平、西館、ジャイアントとツアーを楽しみました。

クラブ外からの参加者の方からも、「楽しく滑れた」「スキー協フェスタにも参加したい」と嬉しい感想を頂き、クラブ員も新しい参加者から新鮮な刺激を受けるなど、クラブツアーのあり方のヒントとなるなど、今迄にない取り組みとなりました。



## 第5回運営委員会報告

日時：2013年12月17日（水） 於：新日本スポーツ連盟事務所

1. 中央研修会報告
2. 関西ブロック研修会報告
3. 京都スキー協フェスティバルについて
4. ウィークデーツアーについて
5. 今後の検討課題
  - (1) 指導員の養成について
  - (2) 京都スキー協の宣伝について
    - ・ミニパンフの作成を検討する。
    - \*全国よりティッシュ付リーフ届くので京都版のシール作成。
  - (3) 若い世代の会員を増やす
  - (4) 2014年9月6日（土）・7日（日）の関西ブロック学習交流会の準備（京都が担当）
    - ①場所の確保：
      - (1) 聖護院御殿荘（左京区 京阪神宮丸太町）にきまった。
    - ②内容の検討を順次おこなっていく。
6. 各部からの報告

### 2014復興支援 春休み子どもスキー指導員・スタッフ募集

スキーで思い切って体を動かし、はじける笑顔を見ようと2012年から始めた「春休み子どもスキー」も今回で3年目を迎えます。

今年も以下の日程で開催しますので、春休み子どもたちのスキー指導、雪遊びなどのスタッフを募集いたします。

- 岩手「春休み子どもスキー」3月22、23日（八幡平リゾートスキー場）
- 宮城「春休み子どもスキー」3月25、26日（宮城えぼしスキー場）

実施要項などは全国スキー協ホームページ、  
または全国スキー協までお問い合わせください。

### 2014復興支援 春休み子どもスキーに支援募金のお願い

震災復興支援「春休み子どもスキー」の三たびの成功に向けた募金を呼びかけます。  
みなさんの募金が、「子どもスキー」のリフトやバス、宿泊などに活用されます。

“子どもたちの笑顔をつくろう”と行なってきた「子どもスキー」を成功させるために  
みなさんのご支援、ご協力をよろしくお願い致します。

支援募金は下記郵便振込口座にお振り込みいただければ幸いです。

郵便振込口座 00180-7-82138 全国勤労者スキー協議会（支援募金と明記下さい）